



印西市立西の原中学校

# 学校だより

発行 令和6年12月2日 No. 8

〒270-1334

印西市西の原一丁目3番地

TEL 0476-45-0160

FAX 0476-45-0161

特別支援相談窓口・コーディネーター  
(教頭・米村・谷)

セクハラ相談窓口

(大井・仲子・鈴木美・森元・教頭)

## 【学校教育目標】

社会に対応し、心豊かにたくましく生きる若者の育成  
～常識と良識をもった生徒～

## あと、少しだけ！！

印西市立西の原中学校  
校長 臼井 昌章

1年の経つのは早いもので、令和6年ももうあと1か月となりました。この機会に1年間を振り返ってみてほしいと思います。

誰もが年の初めに、新年の誓いを立ててそれを文字にしたり、夢に向かって目標を決めたりしたと思います。その誓いを実践し、また、目標を達成しようと、誰もがさまざまな努力を積み重ねながら、生活してきたことでしょう。毎日生徒のみなさんの様子を見ていますが、この1年間の1人ひとりの成長は、目を見張るものがあります。ここで、今年最後の1か月をより一層充実させ、来年につなげるために「あと少しのがんばり」ができると、さらにすばらしいなあと思います。

昔、エディ・タウンゼントという、ボクシングを教えることを生業としているアメリカ人男性がいました。日本人のガッツ石松をはじめ、6人の世界チャンピオンを育てた名トレーナーです。

あるとき、エディさんは「世界チャンピオンになれる、なれないは、どのくらいの差があると思う？」と、自分が指導しているボクサーに問いかけました。そしてエディさんは、その答えとして、左手の親指と人差し指の間を2cmほど空け、「これだけよ。本当にこれだけの差よ。わかる？」とメッセージを送りました。

「もうダメだ」とあきらめるか、「あと、少しだけ！」と頑張ってがんばることができるか、その差はほんのちよっぴり…。あなたの気持ちの持ち方次第だよ、とエディさんは伝えてくれたのです。

みなさんにとって「あと、少し」は何でしょうか？

学習面では、例えば英語や数学の勉強をしていて、「もうこのくらいでやめよう」と思ったときに、「いや、あと1つだけ英単語を覚えよう」とか「あと1問だけ問題を解いてみよう」と挑戦してみてもどうでしょうか。

運動面では、例えばバスケット部の人が「もう練習を終わりにしよう」と思ったときに、「あと1本、シュートを打ってみよう」とか「あと1分だけハンドリングを続けてみよう」と考え直して、練習をすればどうでしょうか。

あと1つ、あと1問、あと1本、あと1分、あと1回…。あと少しのがんばりや積み重ねが、その人の血となり、肉となり、実力になります。今年も残りあとわずか。ここでどれだけチャレンジできるかで、今年の新年の誓いや目標がかなえられるかもしれません。「もうや～めた」という言葉が浮かんだとき、「あと少しだけ！！」と気持ちを奮い立たせ、もうひとふんばりして、今年を締めくくってほしいと思います。

がんばれ！西中のみんな！



## 【12月の主な行事】

3日	火	食に関する指導訪問 (3年) 食生活アンケート (1年)
4日	水	専門委員会 食に関する指導訪問 (3年) 人権週間 (~12/10)
5日	木	食に関する指導訪問 (3年)
6日	金	歯科指導 (1年) 全校面接練習 (3年) 1・2年一斉下校 14:40
9日	月	高齢者交流 (1年)
10日	火	安全点検 アウトリーチコンサート
11日	水	全校評議会 邦楽体験 (3年) 朝練 7:10~ (~2/4) 学校評価アンケート (生徒)
12日	木	新入生保護者説明会 邦楽体験 (3年) 職場体験発表会 (2年)
13日	金	邦楽体験 (3年)
17日	火	職員会議 一斉下校 14:15
18日	水	大掃除・ワックスがけ 1年書写指導
19日	木	授業参観 (1・2年) 保護者会 (1・2年) 保護教代表会 資源物回収 家庭教育学級
20日	金	3年給食終了後下校 12:50
23日	月	終業式 給食最終日
24日	火	冬季休業 (~1月5日)
27日	金	学校閉庁日 (~1/3)
1/7	火	3学期始業式

### 【体操部】千葉県新人体育大会

女子個人総合 4位  
種目別 跳馬 2位  
ゆか 3位  
段違い平行棒 1位  
男子個人総合 6位  
種目別 ゆか 3位

緊張感を保ちながら、試合に臨んでいました。今後の活躍も期待されます。さらに上位を目指して頑張っしてほしいと思います。

## 人権週間

12月4日~10日は人権週間です。「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とにおいて平等である」とうたった世界人権宣言が、1948年12月10日に国際連合総会で採択されたことを記念して、人権週間が始まりました。

中学校生活において、決して見逃してはならない人権問題に「いじめ」があります。生徒の悩みや不安に寄り添うのはもちろん、保護者のみなさまとともに、「いじめは卑劣で、絶対に許されない行為である」と、今後とも生徒たちに訴えかけていきたいと思ひます。

### 「『誰か』のこと じゃない」

今年もこのキャチコピーが人権週間に使われています。自分さえよければと、誰もが自分のことだけを考えて行動してしまつたら、きっと誰も幸せにはならないでしょう。まわりにいる人の立場に立って、その人の気持ちを想像してください。きっと自分の発する言葉が変わるはずですよ。

情けは人のためならずといひますが、これは、まわりの人を大切にしていると、まわりまわって自分自身も大切にもらえるようになるということです。相手を思いやる心を持ち、それを言葉かけや態度で表に出すことが大事です。相手を大切にし、そして自分自身も大切にしてほしいと思ひます。

### 「あなたも大事、私も大事」

そんな気持ちで毎日生活していきたいし、そんな西中であります。

## 【部活動等の記録】

### 【吹奏楽部】印旛地区アンサンブルコンテスト

クラリネット4重奏 金賞・県大会出場  
管打楽器6重奏 金賞  
管楽8重奏 金賞

少人数で演奏を行う「アンサンブル」の大会に3チームが出場しました。全体練習と並行してアンサンブル曲に取り組んできたので練習期間が少なかったのですが、見事3チームすべてが『GOLD金賞』を受賞しました。さらに、クラリネット4重奏は大会1位の成績で地区代表に選出され、12月22日に行われる県大会に出場します。応援よろしくお祈りします。

### BIG HOPクリスマスイルミネーション点灯式依頼演奏

BIG HOPイベントに参加し、クリスマス曲を含めた5曲を演奏しました。準備されていた鑑賞席だけでなく、広場の周りや2階通路にも沢山のお客様にお越しいただき、演奏を聴いていただくことができました。これからも地域の方に喜んでいただける演奏を目指して活動を推進していきます。応援に駆けつけてくださった皆さま、ありがとうございました！！



## 全国学力・学習状況調査の結果分析

4月18日(木)、日本中の中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査の目的は、①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることにあります。ですから正答率のみに着目するのではなく、生徒の学力傾向や学習状況、生活習慣などを正しくとらえ、得意な分野を伸ばしながら、課題の残る分野を改善していけるよう、この調査結果を生かしてまいります。

### 【教科に関する調査からわかる西の原中生徒の特徴】

#### (国語)

平均正答率は全国平均より少し低く、千葉県平均と同等となりました。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の分野は全国平均を上回り、「読むこと」は県平均と同等でした。しかし「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「情報の扱い方に関する事項」については県平均をかなり下回りました。まず、文章の内容を正確に読み取る力を高めることが大切です。そして、情報を伝える目的や相手を明確にして、文章の内容を要約し、自分の言葉でまとめ直して伝える場面を数多く設定することで、必要な情報を正確にまとめる経験を積ませる必要があります。今後も毎回の授業で明確な学習課題を掲げ、言語活動を充実させることで、国語能力の基礎を確実に定着させようと考えています。

#### (数学)

全体的に全国平均をかなり下回り、千葉県平均よりも下回りました。領域別で見ると、図形分野は全国平均・千葉県平均ともかなり上回りましたが、数と式、データの活用では大きく下回る結果となりました。全体として記述式問題の正答率が低く、数学的に問題を解釈し説明すること、そして基礎的・基本的な知識及び技能が十分に身につけていないことが課題です。まず既習事項を学び直すため、定期的な確認テストや単元テストを繰り返し、必要な知識・技能の定着を図ります。また、問題文で問われていることが何かを正確に理解する言語能力を高めることも大切で、複数のデータを論理的に比較・考察する場面を数多く設定し、推論の過程を数学的に表現する経験を積ませようと考えています。

### 【生徒質問紙調査からわかる西の原中生徒の特徴】

毎日朝食をとったり、就寝時間、起床時間が決まっていたりという基本的な生活習慣については全国平均を上回り、スマートフォン等でのゲームや動画視聴時間は全国平均よりも短くなっています。また、スマートフォンやゲーム機器の利用方法についても、家庭での約束を守る生徒が全国平均を上回っており、高い規範意識を持っています。

自己有用感等に関する質問でも全国平均を大きく上回り、ICT機器の利用に関する質問でも全ての項目で全国平均を上回りました。今後も自己有用感・自己肯定感が高まるよう、学習面や諸活動・行事を通じてさまざまな場面を設定し、多様な生徒が活躍する場を設けてまいります。また、授業で積極的にICT機器を活用し、深い学びにつなげていきたいと考えています。